



鶏 鳴

〒221-0864

横浜市神奈川区菅田町2851

(電話 045-473-7191)

イエスの言葉

『永遠の命とは、唯一のまことの神であられるあなたと、あなたのお遣わしになったイエス・キリストを知ることです』

聖書(ヨハネ福音書17章3節)

牧師 河合裕志

この言葉は最後の晩餐でイエスが祈った祈りの一節。『父よ、時が来ました』という言葉で始まっている。明日は十字架につけられる、まさにその時が来たというのはその通り。そして以下に長い祈りをささげる。

その中で永遠の命についてふれている。永遠の命の定義と言ったらよいか。それは神とキリストを知ることだと。これが永遠の命？よくわからない。どういうこと？

確かに知ることは大切、知識は大事。何事についても知りたい、もっと深い知識を得たい、こんな願いを皆の人が持っている。そこで本を読んだりインターネットで検索したりする。人間、知識欲、好奇心は失いたくないもの。

ところで神とキリストを知るとは何を知ること？ それは万物の創造者である神とキリストの十字架と復活を知ること。なんだか難しい。つまりところ神は私をつくった方、キリストは私の罪が赦され永遠に生きる者となるために十字架にかかり復活した方と知ることなんだ。

これがわかればいいんだ。これがわかればその人は永遠の命を生き始めるんだ。生き始める？ 永遠の命は死んでから始まる

んじゃないの？ まだ死んでないのに、それはおかしい。

それがおかしくない。永遠の命って神とキリストを知ること、そして更に言えば、知って神とキリストと交わること。知るとは単に知識にとどまらない。私たちを神とキリストとの交流にまで導いて行く。交流って？ 語り合うこと。神とキリストは聖書を通して語りかけて来る。それに対して私も語りかける、これが祈り。これが交流。そこに平安な思いが与えられる。神とキリストがここに共にいてくれるから安心だ、ということ。

永遠の命ってそういうものでは？ 平安を内にたたえている命・私。それは現世から始まる。この世はなお多くの苦しみがあり心を乱すこともしばしばだけれど神とキリストとの交わりは平安な思いを都度とりもどしてくれる。

そして死を境として文字通り永遠の命に突入して行く。絶対平安な新世界に。そこで私たちは神とキリストに面と会うことに、そしていよいよ深く緊密な交わりに入っていく。

人間、人との交流は大事。そして神とキリストとの交流が持てればこれは最高。

集會案内

日曜礼拝：午前10時15分、日曜夕拝：午後6時

子どもの教会：日曜日午前9時

求道者会：日曜日午前9時40分

中高青年会：日曜日礼拝後

お話し会、卓球：水曜日午後1時～7時

お祈り会：水曜日午前6時、午前10時、午後7時